

「年齢は関係ない」を貫く医療機器メーカーとは

■医療現場での高精度画像を支える 安西メディカルとは

肺や肝臓など呼吸性移動を伴う臓器の画像診断や放射線治療の課題は、呼吸によって腫瘍の位置が移動してしまうこと。私たちが日常の医療現場で正確な診断を受けられるのも、呼吸の動きに合わせて呼吸同期という診断や照射のシステムがあるからこそ。このシステムのパイオニアであり、製造販売しているのが、安西メディカル株式会社である。（東京都品川区）

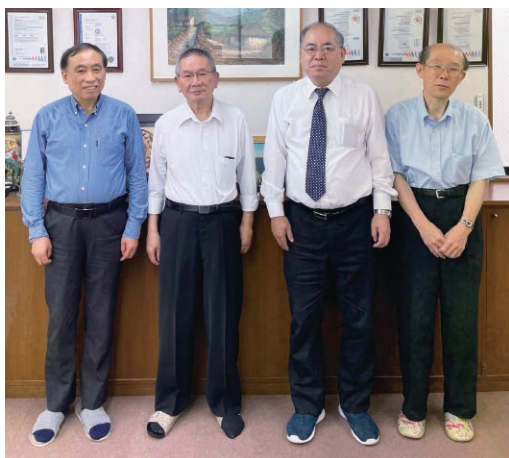
そして、この安西メディカルの創業者であり、81歳となった今でも現場で陣頭指揮にあたっているのが、安江直人会長である。

■「年齢不問」を貫く安江会長とは

国内・海外の大手電子メーカーとタイアップして、「呼吸同期システム」を医療現場に届けている安西メディカルを支えているのは、20名の社員であり、実に半数の社員が60歳を超えていることに驚かされた。それだけではなくとどまらず、機器・ソフト開発や経営管理を担う中心の幹部社員4名は、皆さん60歳前後で中途採用され、現在60代後半という同年代であることにもう一段驚かせてもらった。

会社では最高齢の安江会長に「年齢」のことを尋ねてみると、明快な答えが即座に返ってきました。「年齢は関係ないで

す。我々の会社は発展途上であるので、能力本位・人物本位で採用をするし、幹部職にも年齢不問で登用します。わが社の定年は85歳なので、能力さえあれば、70歳でも、80歳でも採用したいと思っています。幹部の60代後半の4人は、みんな本当に優秀で頑張ってくれています」と力強く語っていただきました。



安江会長（左から2番目）と幹部社員の皆さん

■女性幹部社員が語る「安江会長の 従業員ファースト」のスタンス

50代で外資系企業から転職されてきたある女性幹部社員は、そんな安江会長を次のように評した。「とにかくバイタリティーにあふれています。現状維持をよしとせず、新規事業のことを四六時中考え

ておられます。したがって、社員への指導の言葉はとても厳しく、私でさえも、時折音をあげそうになります。でも会長の、社員のことを第一に考えるスタンスは微動だにしないのが、信頼の土台になっています。年齢が人を判断するフィルターではないので、私たち社員はいつまでも安心して会長についていけるのでしょうね」と。81歳の会長を、60代後半の幹部社員陣が支え、常にもう一段の発展を目指す。安西メディカルのような会社が増えていけば、日本の超高齢社会の風景が頼もしく見えてくるのは筆者だけではないと思うながら、社後にした。

池口武志（いけぐち・たけし）

一般社団法人定年後研究所理事所長

1963年生まれ。1986年日本生命保険相互会社入社。現在、株式会社星和ビジネスリンク取締役常務執行役員、キャリアコンサルタント（国家資格）としても活動中。



一般社団法人定年後研究所

人生100年時代の中で、中高年社員のセカンドキャリアの充実に向けた調査活動を展開中。定年前後からの自走人生にチャレンジする会社員と、それをサポートする企業を応援。当記事へのご意見・ご感想を、ポータルサイト <https://www.teinengo-lab.or.jp> 「お問い合わせ」にお寄せください。